

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和6年第8週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (8週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：報告なし。5類感染症：梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
5類	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	扁平コンジローマ

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,261人(定点当たり46.0)で、前週比85%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと新型コロナウイルス感染症であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は467人(8.1)で、前週比84%と減少した。高千穂(17.0)、小林(12.3)、延岡(10.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約4割を占めた。

##### 【インフルエンザ】

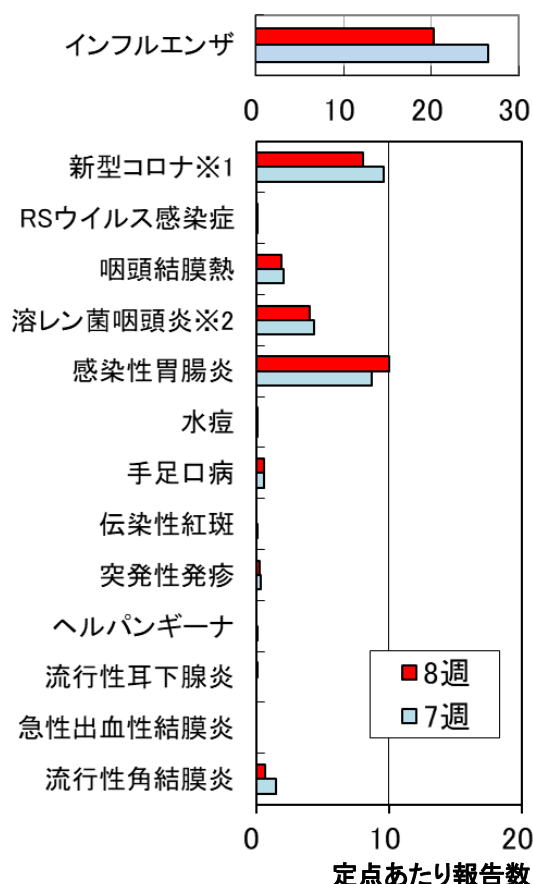
報告数は1,179人(20.3)で、前週比77%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(6.1)の約3.3倍であった。延岡(34.4)、高鍋(22.3)、高千穂(21.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約9割を占めた。

##### 【感染性胃腸炎】

報告数は362人(10.1)で、前週比115%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(9.4)の約1.1倍であった。日南(21.0)、小林(17.7)、都城(15.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

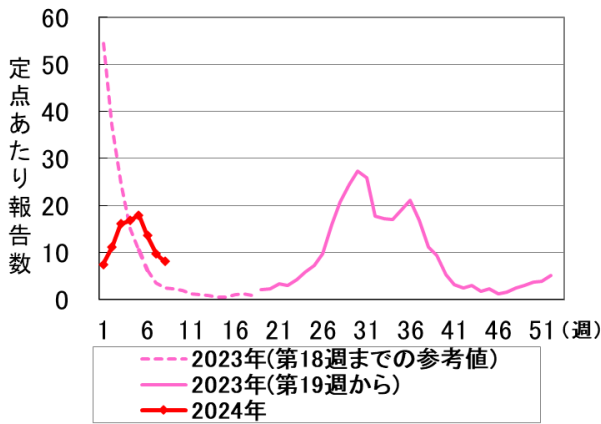
\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

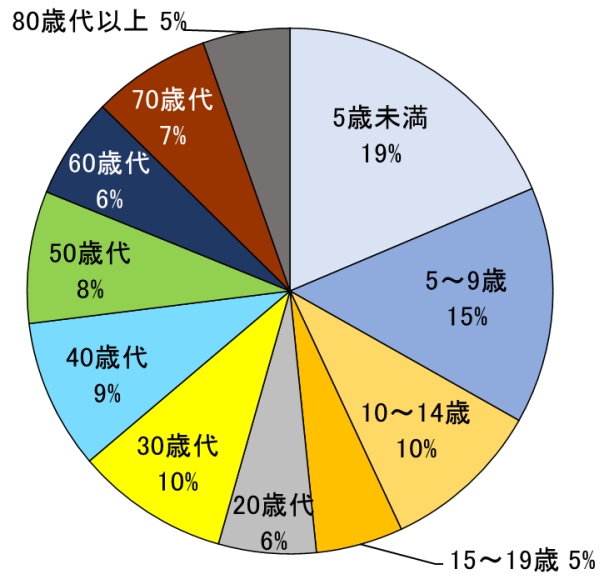


※1 新型コロナウイルス感染症  
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

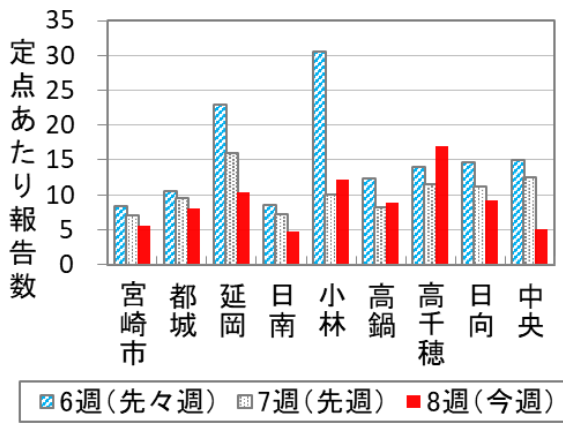


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第8週)

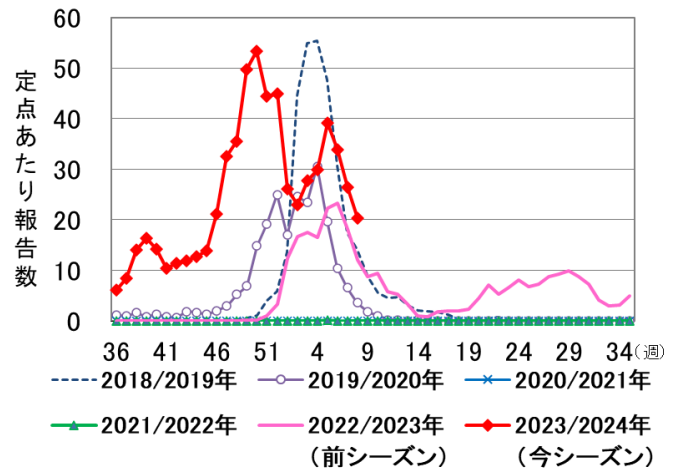


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

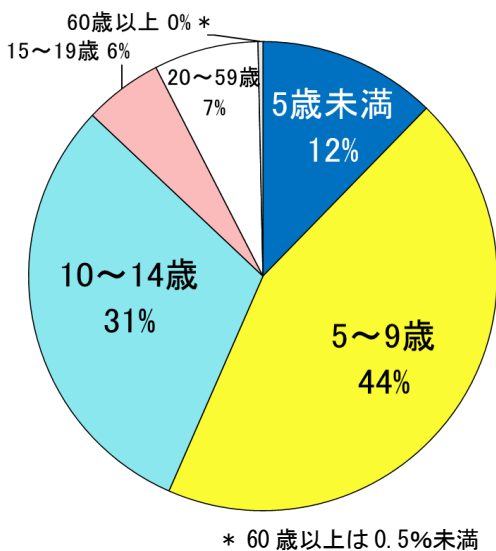
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



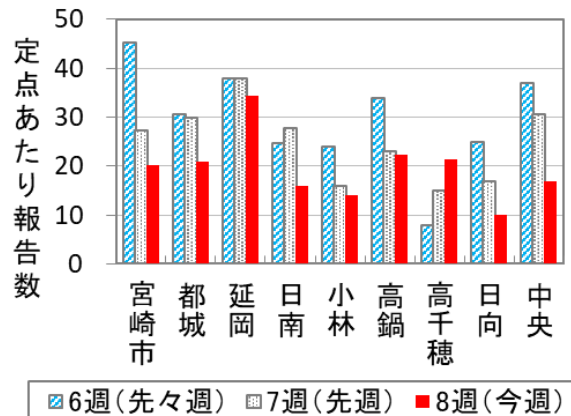
インフルエンザ 発生状況



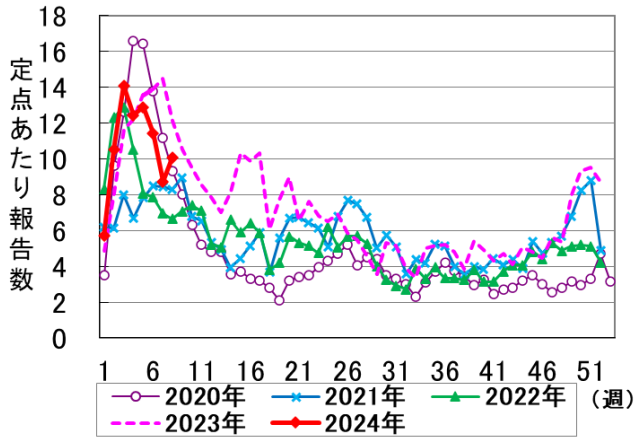
インフルエンザ年齢群別グラフ(第8週)



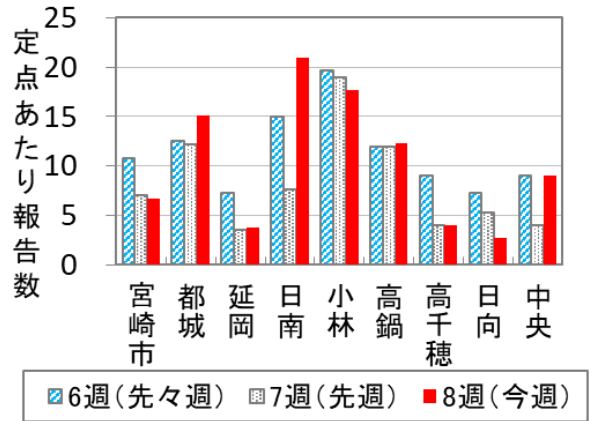
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(20.1)
都城	インフルエンザ(20.9)
延岡	インフルエンザ(34.4)
日南	インフルエンザ(16.0)、咽頭結膜熱(3.0)、 感染性胃腸炎(21.0)
小林	インフルエンザ(14.0)
高鍋	インフルエンザ(22.3)
高千穂	インフルエンザ(21.5)
日向	インフルエンザ(10.0)
中央	インフルエンザ(17.0)、咽頭結膜熱(8.0)、 手足口病(7.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・手足口病(5)

\* 流行注意報レベル基準値\*

- ・インフルエンザ(10)

## 🇯🇵 全国 2024 年第 7 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	187 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	26 例		
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	2 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	2 例	レジオネラ症	23 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	33 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例	水痘(入院例)	4 例	梅毒	143 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	8 例
	麻しん	1 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 82%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は 101,832 人(20.6)で前週比 86%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(7.2)の約 2.9 倍であった。福岡県(37.1)、大分県(30.5)、熊本県(29.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 49,821 人(10.1)で前週比 73%と減少した。石川県(15.5)、茨城県(15.5)、岐阜県(15.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第08週(02月19日～02月25日)

疾病名		第07週	第08週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1535	1179	322	209	241	80	56	134	43	60	34
	定点当り	26.47	20.33	20.13	20.90	34.43	16.00	14.00	22.33	21.50	10.00	17.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	559	467	89	81	72	24	49	53	34	55	10
	定点当り	9.64	8.05	5.56	8.10	10.29	4.80	12.25	8.83	17.00	9.17	5.00
RSウイルス感染症	報告数	1	2				1		1			
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	73	68	26	8	3	9	3	5		6	8
	定点当り	2.03	1.89	2.60	1.33	0.75	3.00	1.00	1.25	0.00	1.50	8.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	158	144	51	31	13	14	6	16	1	5	7
	定点当り	4.39	4.00	5.10	5.17	3.25	4.67	2.00	4.00	1.00	1.25	7.00
感染性胃腸炎	報告数	314	362	67	91	15	63	53	49	4	11	9
	定点当り	8.72	10.06	6.70	15.17	3.75	21.00	17.67	12.25	4.00	2.75	9.00
水痘	報告数	4	3	1	2							
	定点当り	0.11	0.08	0.10	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	20	20	10	1	1			1			7
	定点当り	0.56	0.56	1.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	7.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	10	5	2			2	1			
	定点当り	0.36	0.28	0.50	0.33	0.00	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	4	3	1							
	定点当り	1.50	0.67	1.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～8週 保健所受理分)

2類感染症	結核	10例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例			
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	13例	
				レジオネラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例			
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	28例(1)	

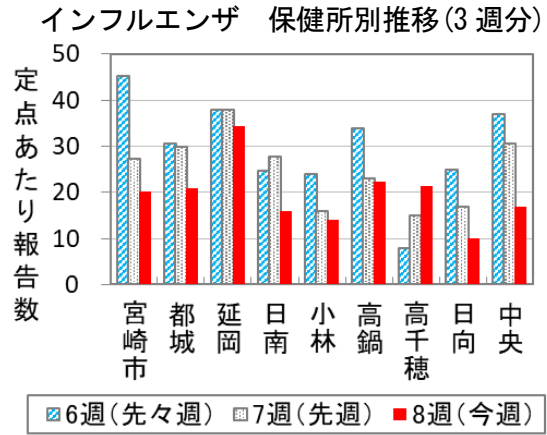
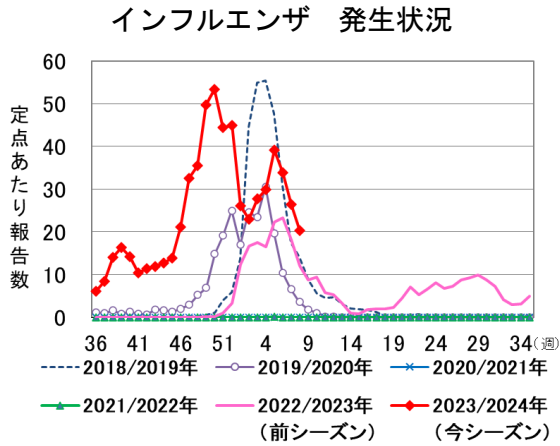
( )内は今週届出分、再掲

## インフルエンザ情報《県内第8週、全国第7週（再掲）》

### □ 県内第8週インフルエンザ発生動向

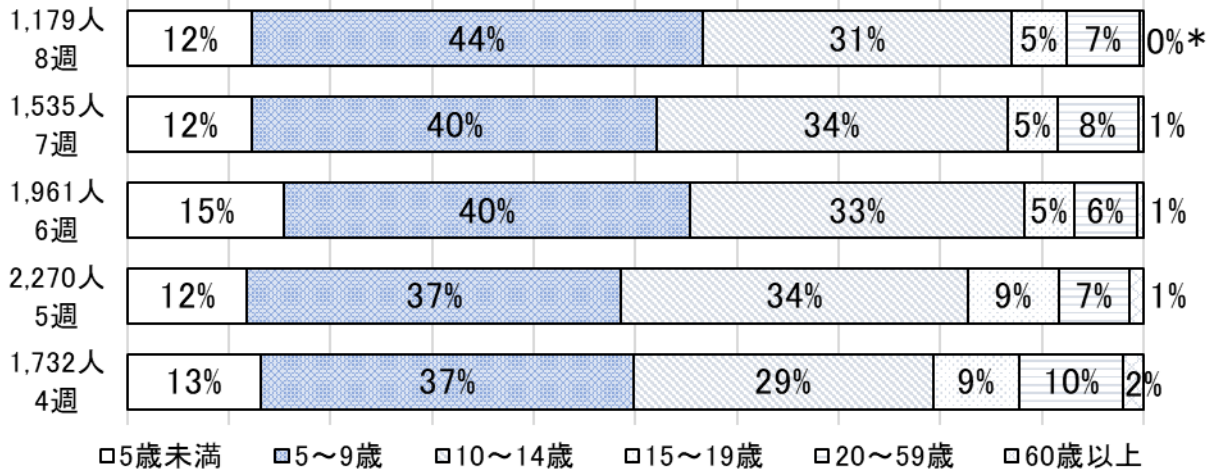
2月19日～2月25日までの1週間で1,179人(20.3)の報告があった。前週比77%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値\*(6.1)の約3.3倍であった。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

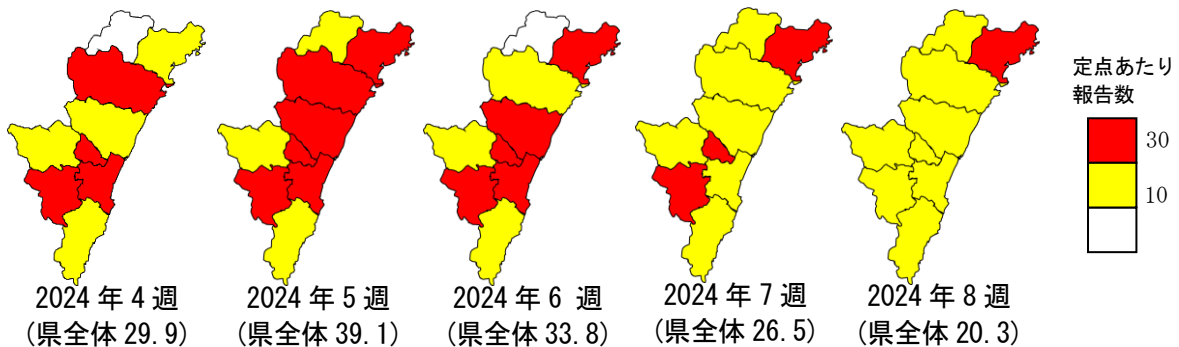


### 年齢群別割合の推移(2024年第4週～第8週)

\* 60歳以上は0.5%未満



### 保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第4週～第8週



### □ 全国第7週インフルエンザ発生動向

2月12日～2月18日までの1週間で101,832人(20.6)の報告があった。前週比86%と減少し、福岡県(37.1)、大分県(30.5)、熊本県(29.9)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の11%、5-9歳が39%、10-14歳が32%、15-19歳が6%、20-59歳が11%、60歳以上が1%であった。